

議題1 文献調査の進捗状況 2022.3.15 ①

・はじめに(概要・調査の流れ)

前のご報告と今回のご報告
~文献データの収集が概ね終了~

・文献データの概数・収集方法

- 火山火成岩類 ○隆起侵食 ○地質地質構造未固結堆積物
- 断層活断層 ○鉱物資源

・今後

- ① 最終処分法で定められた要件に照らした評価
- ② 技術的観点からの評価
- ③ 経済社会的観点からの評価

進捗など内容がまとまり次第 を実施
地域のみなさまにご説明します

2年ごしかり
終わるのか

現状よろしくない
データはあるか?

めやす通り
すすめている
(現在のところ)

概ね想定内
黒松内低地断層帯
は科学的特性マップにも
記載されている

凡例

会員の
みなさま

NUMO
I ね方

もっと知りたい
時間をかけて
よりわかり

内容はよく
わからない

文献調査のみで
「寿都町は安全」と
判断できないのでは
概要調査までいらない

当日資料もって
説明されて
わからない

わかりやすい資料
を今後追って
作成していきたい

明らかにあかぬ場所を
外して、が文献調査の
結論 → 概要調査で
詳細に調べる

前もってわけて
ほしい

もっとわかりやすく
町民に説明
してほしい

文献調査と
概要調査の
つながりもこの
対話の場

改善する

検討していく

初公開の情報
であり調整に
時間がかった

議題1 文献調査の進捗状況②

- 火山・火成活動など
 地温 → バントナイトに影響
 地 (坑井温度を確認)
- 断層活動 黒松内低地断層帯
- 隆起侵食
- 鉱物資源 「寿都鉱山」
- 未固結堆積物 (過去のボリング調査)
 - 地質調査 寿都町地下水調査
 - 寿都の泉源
 - 寿都漁協孵化場
- 地質・地質構造
 - 堆積岩が広く分布している

断層のあたり側の
 のことも知りたい
 断層の西東と地層が違うのでは

今後、詳細整理
 していく
 (データ収集者)

断層はわかるもの?
 どういう情報が
 わかるの? ...

又分場にする
 リスクを想定した
 情報

おれいほせいがん
 水冷破碎岩は
 よくないと聞いたが
 他の先生の意見と
 ちがうのでは

深いところの水冷
 破碎岩については
 現地調査が必要

水冷破碎岩が
 よくないと言っている先生の
 意見も聞きたい
 要望

寿都鉱山以外の
 鉱山についても
 知りたい
 他にもあるのでは...

他の鉱山について
 も情報収集
 している

土地の高低差が
 あると処分によいの
 のでは?

地下水の圧力などに
 ついては概観調査
 にて把握する

文献で
 土地の「かさか」
 わかるのか

どの地区が「かさか」
 物らしいのか
 読みとれるのか

他での調査試験
 結果から推定する
 のみ

実際はボリング
 しないといけないが
 一般的に堆積層
 は花子層おすきま大
 年代によっても
 がたさが異なる

幌延も文献など
 調べているのか

調べている

ボーリング

具体的に何m
ほど調査するのか

処分場の深さに応い
その処分場より深い
ところまで調べる

現実的には
何mくらい?

地温と強度から
決める

処分場の全体を
把握するには
どこから何m、本数
~~何本~~

6~10km² に対して
地質の状況や
地下水との関係で
本数・深さを組み合わせる

一般的には?

数十本ではない
ボーリング以外の
物理探査とも
組み合わせる

針山なども避ける
と思うが、ボーリングは
つぎの悪いところを
避けるのでは?

→正確なデータが
とれなくなるのでは

明らかに向かない
ところは外すが
データ把握に必要な
場所本数も
決めていくこと
になる

議題2 町民のみなさまに分かりやすいパンフレットの作成

2022.3.15

12/4対話の場で提案作成をすすめてきた

明日以降
ご確認いただき
次回以降完成→西布

作るにあたってのポイント

- ① 手にとって { 表紙デザイン
サイズ・素材
- ② 眺めて { ページデザイン - 防災マップのような
文字・イラスト・写真
- ③ 関心や理解に { ×専門用語
×体言止め

賛成・反対に関係なく、対話に役立てもらう

① 地層処分①の必要性、処分方法と安全性

② 文献調査

③ ① 高レベルガラス固化体 (複数箇所実施、放射性物質を含まない、寿都住民投票 包)

④ 対話の場、海外の取組

- ⑤ 参考)放射線の基礎知識
あるご質問
- ⑥ NUMOの活動メンバーについて

地事等の承諾が必要

議題3 これまでのご意見を踏まえた今後の取組 ① 2022.3.15

幌延六ヶ所村
視察に向けた
文痴状況

5月末~6月上旬 幌延
平日と休日の2パターン
(六ヶ所はその後...)
→ 調整にお知らせいたす

有識者を
招聘味話を
聞く会の開催

免状強会との連携して実施
7月 日途
+ 町全体へ実施を検討
対象に

六ヶ所村の方の
話のうかがう場の
設定

早ければ次回以降 現在調整中

議題3 これまでの意見を踏まえた今後の取組 ②

エネルギー
政策の解説

基本的な知識獲得の機会として、
理想的な電源構成
有望な資源、
原子力・原子燃料サイクル
次以降、国と調整し実施 } 理解の
入口に

質問に対する
回答
(エネルギーは
はつりガラス)

第7回対話の場でいただいたご質問への回答 (1)

① ガラス固化体にする際、イエローフェーズが発生すると劣化率が下がり、不良品となる。海外での処理量は十分な検査がなされていない、問題なのではないか

【回答】
海外で製造されたガラス固化体は適切に選別され、検査されたうえで日本に運送されています。
日本産が劣化率がイエローフェーズを含有しがガラス固化体の劣化率に及ばず品質について優れた結果、地層処分の実績には影響を及ぼさないことが確認されています。

イエローフェーズとは
ガラス固化体の主に造形材で固形状で存在している黄色い部分です。
濃縮液の濃度等によりサラサラの液体となること
このサラサラの液体がすぐに流れてガラスに逃げ込まず、ガラスの主に造形材に付着して固形状になります。
イエローフェーズにはセシウム等の放射性元素の一部が含まれます。

第7回対話の場でいただいたご質問への回答 (2)

② ハツリガラスはTRU(超難燃物)として処理され、モルタル等で固化される。ガラスはアルカリ性に強いが、大丈夫なのか。

⇒ ②-1 ハツリガラスはTRU(超難燃物)としてモルタル固化されるのか

【回答】
ハツリガラスの処理については廃棄業者等で確認されていますが、現場では、ガラスの劣化率を厳密に検査することによって品質を確保して処分されています。

ガラスの劣化率は
ガラス固化体の固化中に造形材が溶け込むことがあり、劣化率が高くなります。
この造形材に劣化率検査が実施されており、ガラスに劣化率が高いものは、廃棄業者から除外されます。
放射性廃棄物の処分年度毎に検査、発生するガラスの劣化率検査「ハツリガラス」として扱われます。

第7回対話の場でいただいたご質問への回答 (3)

② ハツリガラスはTRU(超難燃物)として処理され、モルタル等で固化される。ガラスはアルカリ性に強いが、大丈夫なのか。

⇒ ②-2 ハツリガラスをモルタルのようなアルカリ性環境に置かれると、ガラスが早く溶けて問題にならないか

【回答】
②-2 環境の違い、主にTRU(超難燃物)として処理する場所、セメント系材料(モルタル等)で固化するとアルカリ性の環境になるためガラスが溶け出しやすくなります。
②-1 ハツリガラスをTRU(超難燃物)としてセメント系材料で固化するとしても、放射性元素として厳密に管理されるため、十分な品質管理によって、劣化率の低いガラスのみが選別されています。